

## 3

## HIGASHI COMPASS

junior high school

2025年  
3月19日

## サバイバー

校長 林 武宏

先週行われたSDG's Dayにて国連UNHCR協会を通じて、渋谷ザニーさんにお越しいただきました。渋谷さんについて少しだけお伝えします。渋谷さんは旧ビルマ(現ミャンマー)の首都ヤンゴンでお生まれになりました。1993年、8歳の時に、民主化運動を続けておられたご両親とともに軍事政権の弾圧を逃れ、日本に亡命。その後、日本の学校で大学まで学ばれ、卒業後はファッションデザイナーとしての地位を築かれました。映画やドラマの衣装、K-POPアイドルから内閣総理大臣夫妻、皇室の衣装も担当されています。2012年以降はご自身が難民であることから、国連UNHCR協会への基金活動、また渉外アドバイザーとして世界中の難民のための活動をなさっています。

講演では、渋谷さんの生い立ちとご自身の生き方について、大変優しい口調で語りかけてくださいました。その中でおっしゃっていたのが、タイトルの「サバイバー」という言葉です。「私たち難民は敗者ではありません。サバイバーなんです」。「サバイバー」＝「逆境に負けない者」。その言葉は、渋谷さんの講演に先立って行われた、UNHCR協会の天沼耕平さんの「難民とは、困難に立ち向かう民衆なのです」というお話とも呼応して、生徒たちの心に入りました。「『難民』と聞くと、弱いもの、救うべき人、助けてほしいと乞う人、そんなイメージを抱くかもしれません。そうではない。むしろ、難民は強い人々なのです」。天沼さんは力強くおっしゃいました。

戦争や紛争など、日本では考えられないくらいの困難を乗り越えてきた人々のために、ともに手を取り合って生きていく。そのために何ができるのか、そんなことを考えさせられた今回の講演です。

1年生生徒の感想を紹介します。



今回の講演会で、難民だった人、である人の辛さを少し学ぶことができたと思っています。今私たちが生きていけるのも、学校に通わせてもらっているのも、すべて当たり前のことではないです。平和という言葉はあっても、この世の中に平和は存在しないと思います。それは人々が手を取り合っていないからだ、と教わりました。私たちはまだ、手を取り合うことができていないと感じています。もし私たちの手で平和を作ることができたら、そのときは今困っている人たちと手を取り合って、みんなと一緒にみんなの夢を叶えたいです。

左の写真は渋谷さんがデザインされた「世界難民の日こいのぼり」です。講演で渋谷さんはおっしゃっていました。「日本には子どもを想うすばらしい行事がある。そして、鯉は、急流や逆境に負けずに、前進し続ける。鯉が目指す故郷は『希望』なのです」。このこいのぼりには、すべての子どもたちが、望む世界で、夢をつかむことができるように、との強い願いが込められています。

最後になりますが、保護者の皆さまには1年間本校の教育にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。おかげさまで今年度予定していたすべての教育活動を終えることができました。とりわけ3年生の保護者の方々には、3年間学校を信頼しお子様を託していただき感謝いたします。卒業する3年生全員が、望む世界で、夢をつかんでくれることを願っています。



# 1年生 箱根学習

清里山荘合宿を経て、今回は中学校生活の中で初めてA～E組が共に同じ部屋で宿泊する機会です。次年度9月に実施予定の京都奈良学習に向けたステップとして、この2日間はとても有意義なものとなっています。

1日目は時折、小雪が舞う中ではありましたが、小田原城見学と寄木細工作りの体験をして、それぞれ歴史や文化を肌で感じながら、箱根を満喫しました。

2日目の朝、窓の外には雪景色が広がり、快晴の青と雪の白とが美しく、バスのガイドさんも大変珍しい光景だとお話されていました。大涌谷からは富士山の全景も見られ、貴重な経験となっています。海賊船でのクルーズは、暖かな向陽と心地よい風に誘われ、多くの生徒が甲板からの景色を堪能していました。



# 3年生 横浜鎌倉学習

卒業を間近に控え、中学校生活のまとめとなる横浜鎌倉学習に行ってきました。1日目は、皇居外苑で二重橋を見学した後、バスで横浜に向かい、カップヌードルミュージアムで、マイ・カップヌードルを作りました。その後、街をガイドとともに散策し、横浜の歴史を現在の風景に重ね合わせながら理解を深めました。夜は、夜景を見ながらのディナークルーズを堪能。AB組とCDE組が一緒になった班行動も、自然な関わりができてきているのはさすが3年生です。2日目は、鎌倉大仏や鶴岡八幡宮、新江ノ島水族館をクラスの友達と巡り、卒業前の楽しい思い出を作りました。以下、生徒の感想です。

- ディナークルーズは、夜景が綺麗で料理がおいしくて最高でした！ Y.H.
- 部屋で友達と一緒にカードゲームなどをして過ごした時間がとても楽しかったです。卒業前に、いい思い出ができました。 I.Y.
- 3年生で、奈良の大仏と鎌倉の大仏、両方見ることができました。鎌倉の大仏は屋外にあることで青銅色になっていて、味わい深かったです。 Y.A.



# 40期 友愛会報告会



友愛会活動の一年間を振り返る、第40期友愛会の報告会を行いました。今年度は、総務委員が掲げた『全員参加～自ら考動し全員で動く友愛会～』を意識しながら活動を進めてきました。また、重点である「対話を通じた合意形成」は、各委員会の話し合いの中で日々実践されています。報告会では、今年度の成果や課題がそれぞれの委員長から伝えられました。また、課題については、次年度での対策案も伝えられるなど、有意義な報告会となりました。今年度の活動から得た経験を、現1・2年生がしっかりと引き継いでいって欲しいと思います。



# スピーチコンテスト

3月12日にスピーチコンテストの本選が行われました。A B組はクラス内予選で選出された代表2名が、C D E組は各学年の代表1名が出場します。

中学校生活の集大成として成熟したスピーチをした3年生の姿は下級生の学びになったはず。経験を積んで去年よりブラッシュアップした2年生、初めての舞台でも堂々と発表できた1年生の、来年のさらなる活躍に期待します。1位の生徒のスピーチ内容を掲載します。



発表順	クラス	発表者氏名	テーマ
1	1年	松坂さん	がんばった英検
2	2年	伊藤さん	自分を信じて
3	2年	浅賀さん	探し続けるということ
4	3年	山根さん	「自分らしく」生きるために
5	1年	猪狩さん	改めて知る日本の偉大さ
6	2年	川島さん	人生には恋と冒険が必要だ
7	3年	栗林さん	ホライズン
8	2年	末永さん	桃太郎
9	1年	笠原さん	当たり前の難しさ
10	2年	松崎さん	自分の好きなこと
11	3年	廣川さん	頑固者の精神修行
12	1年	齋藤さん	人と知り合う前提条件
13	1年	安藤さん	2つの天才
14	3年	渋谷さん	ドラえもん
15	3年	南さん	多様性

## 1位 3年 南さん 『多様性』

皆さんは東野圭吾さんの「ラプラスの魔女」という本を知っていますか？この本はすべての物理法則を解析し、未来を予知することができる<sup>うはらまどか</sup>羽原円華が事故だと思われていた事件を解決するお話です。

この本にはもう一人未来を予知できる<sup>あまかすけん</sup>甘粕謙人という人物が登場します。今回はその人物の言葉を紹介します。「世界は一部の天才や、狂った人たちだけで動かされているだけではない。一見何の変哲もなく、価値もなさそうな人々こそが重要な構成要素だ。人間は原子だ。この世に存在意義のない個体などない。ただの一つとして」。

私はこの本を読んで多様性という言葉の意味を考え直しました。多様性とは1960年代のアメリカで人種差別や女性差別に関する運動によってできた言葉です。この本を読む前は、世界は自分の意見を発言し行動に移して活躍できる人たちがつくっているものだと思っていました。私はそれを自分とは違う世界の人だと思い、切り離して考えていました。しかし、本を読んで、「何の変哲もない人々」がいなければできないことがたくさんあることに気が付きました。さまざまな意見を持つ人たちがいて、それに賛成したり反対したりするからこそ、この世界が成り立っているのだと思います。私は、周りとは違うから、普通ではないからと言って考えを否定するのではなく、その考えに耳を傾けて行動できるような人になりたいです。



# 2AB 探究科

2年生が1年間をかけて取り組んだ個人探究作品の校内審査  
がおわり、以下が優秀賞・奨励賞・入選となりました。

	氏名	タイトル
優 秀 賞	磯野さん	高齢者の交通問題 高齢者の運転による交通事故を減らすには
	岡本さん	私たちがミツバチの健康を守るためにできること
	松中さん	駐車場での事故を防ぐには
奨 励 賞	伊藤さん	音楽療法から見る認知症予防
	川島さん	次世代クールジャパン戦略の鍵はKawaii文化にあり!?
	外木さん 吉野さん 浅賀さん	鉄道路線の赤字回復と存続（共同作品）
入 選	大原さん	薬を楽しく・楽に飲むには～剤形と服薬補助食品について～
	穀野さん	『情報の真理』～情報リテラシーを高めよう～
	末永さん	私の母から見たヘルプマーク
	田代さん	寄席離れから見る落語界の昨今